

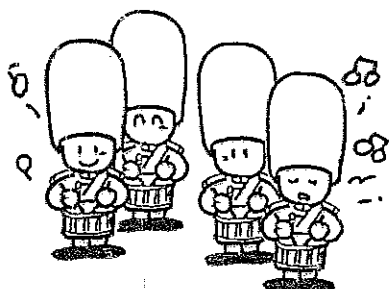
# ゆののの

第1号(平成12年7月)25日発行  
湯野編集局  
湯野公民館(83・2002)

## ☆ 編集局員の紹介 ☆

局長

佐々木 安弘



活力のある豊かでふれあいのある町づくりを目指して当会を発足いたしました。より良い情報を皆様に提供したいと思いますので、ご協力とご支援をいただきますようお願いいたします。

副局長

足達 明美

新米編集員で、分からないことが多いため皆さんの身近な情報がありましたら、是非ご連絡ください。よろしくお願いいたします。

編集員

山下 恒夫



古い者は古い者なりに精一杯頑張りたいと思います。情報提供もあわせて、よろしくお願いいたします。

岡本 隆

湯野に住んでいても、郷土のことを詳しくは知りません。この「ゆのの」の編集発行作業を通して郷土のことを学びたいと思います。よろしくお願いいたします。

福田 真裕美

この度、縁がありまして編集員の一人に加えていただきました。もともと湯野の素晴らしさを発見できるよう一生懸命頑張りますので、よろしくお願いいたします。

ゆののって

どんな意味があるの？

その昔、湯野地区のことを「ゆのの」と呼んでいたんだって！

年配の方には、懐かしい響きがあり、若い方にも新鮮な響きがあるのではないのでしょうか？

「ゆのの」という言葉(響き)には、何かやわらかくてやさしいイメージが湧いてきます。

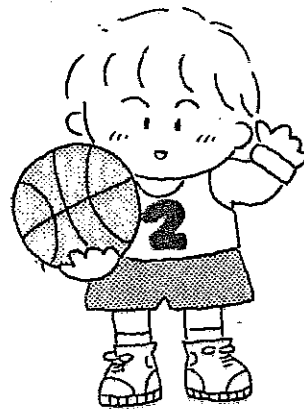
そんなわけで、私達は、この言葉がとても気に入りました。

だから、新聞名を「ゆのの」と名づけました。



## 西部地区子ども球技大会

6月24日、湯野小学校の体育館において、小学生4～6年生を対象に「西部地区 子ども球技大会（ドッチボール）」が行われました。梅雨空もふっ飛ぶくらいの熱気と歓声で、会場は大変盛り上がりました。

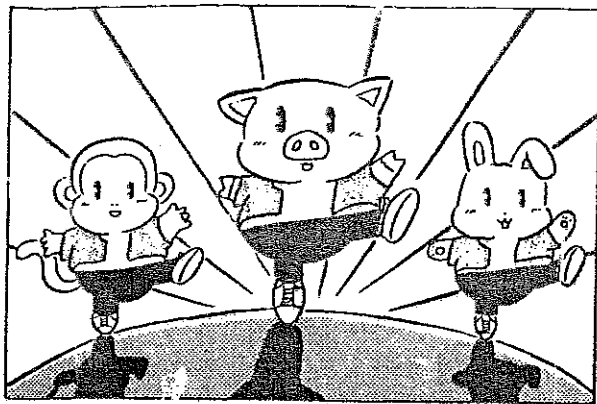


気になる結果は、女子は昨年引き続き優勝をおさめ、男子も優勝こそは逃したものの湯野っ子パワーで頑張っていました。ドッチボール終了後には、昼食会（カレー）もあり、子供達も楽しい一時を過ごせたのではないのでしょうか。

## お気軽 クッキング（公民館学級）

6月16・22日に湯野公民館で、湯野地区食生活改善推進員さんの指導の下、「お気軽 クッキング（料理教室）」が行われました。

料理教室は、とても楽しく和やかな雰囲気で行われ参加された方は、どなたも終始にこやかな顔をされていました。今回は、栄養満点のパーティー料理を主に作られました。私も、ごちそうになりましたが、とても美味しかったです。皆さん、ごちそうさまでした。（感謝！感謝！）



## 吾が山 城山（権現山）

6月のとある日、3人のご婦人達が城山への登山道が分からないが、どのように行ったらよいかと尋ねられた。

後山登山道の終点から300m程のところにある登り口（小路）までご案内した。

このご婦人達は、松田 武司 氏の書かれた「あの山越えて」「山のあなたに」を読んで、城山に関心をもたれたとのことでした。

## スコットさん 来校

6月2日、英語の一日先生として湯野小学校に、スコットさんが来られました。「スコットさん、何歳？」「なんで日本に来ちよるの？」と子供達の質問責めに、スコットさんは片言の日本語で答えられていました。この日は、体育館でダンスやクイズをしたり、運動場でサッカーをしたりと大変楽しい一日だったようです。私も一日カメラマンとしてお供しましたが、普段では学べないことを体験させていただきました。

